

沿岸航海実習の様子 4月15(金)～18日(月)

船内の主な実習 漁具作成、当直、大掃除、天測航法(実習)

航行中は少し船酔いをする生徒もいたようですが、沿岸航海を予定通り順調に行っています。2日に一回の当直も始まり、緊張しているせいか4時間があっという間に過ぎていくようです。

漁業実習で使用する漁具の作成も始まりました。長さが約40mの枝縄を作成、綺麗にコイルして(束ねて)いきます。慣れるまでは、腕に力が入り疲れる作業ですが、漁業実習が始まる頃にはみんな慣れ一人前になります。

専攻科生は天測航法で使用する六分儀の器差を測定しました。器差を正確に求めることで、船位も正確に求められるため大切な実習です。

また、出港に向けて大掃除を2日間かけて行いました。湘南丸名物の教官鬼チェックをクリアして、船内は隅々まで綺麗になりました。



漁具の説明を受ける様子



↑ 漁具作成(枝縄)

ナイロンとテグスなど素材が違うロープや金具を組み立て、一つの仕掛け(枝縄)を作成する。



六分儀の器差(講義)



六分儀の器差測定